

## Q26 人とのかかわりが苦手、 こだわりが強い子どもとは？

人の気持ちを考えずに発言をしたり、友達が言っていることを一方的に勘違いしたりする子どもがいます。なぜなのでしょう？

……… 人とのかかわりが苦手で、こだわりが強い子どもの中には、  
**ポイント** 次のような自閉症の3つの特性を示す子どもがいます。

- A 人とのかかわりが苦手、しっくりいかない
- B 言葉によるコミュニケーションがうまくとれない
- C 強いこだわりがある

この自閉症の3つの特性を抱えていて知的な障害がない場合は、高機能自閉症とも呼ばれます。また、AとCの特性を抱えていて知的な障害がない場合は、アスペルガー症候群と呼ばれます。

自閉症の原因は、脳の器質的・機能的障害と推察されており、自閉症の約75%は知的障害を伴うという報告もあります。

### 📌 自閉症の特性

自閉症を抱える多くの子どもは、次の3つの特性を示します。

- A 人とのかかわりが苦手、しっくりいかない 人と視線を合わせてその表情を読み取ったり、そぶりや雰囲気から気持ちを察したりすることが苦手です。そのために、状況を読むことができない中での言動が、人には奇異に映ることがあります。
- B コミュニケーションがうまくとれない 言葉で他者とコミュニケーションをとることが困難だけでなく、身振りや表情や声のトーンなどの非言語的な情報を理解することも苦手です。
- C 強いこだわりがある 興味関心の範囲が狭く、同じ遊びや物、パターン化した行動にこだわることがあります。また、同じ服や物、物の置き方、道順や活動の手順にこだわる場合があります。

## 📍 感覚の過敏性

外界の刺激に対して過敏に反応してしまうことがあります。大きな音や突然の音に過敏に反応して耳をふさいだり、帽子、靴下、服のタグなどの感触が気になって注意散漫になったりします。また、特定の食物や食感に過敏に反応すると、偏食としてその症状を示したりします。

## 📍 高機能自閉症・アスペルガー症候群の特徴

アスペルガー症候群は、高機能自閉症と同様に知的な障害がない自閉症です。アスペルガー症候群は、一般的には自閉症の3つの特性の1つ「言葉によるコミュニケーションの苦手さ」についても問題がないとされています。しかし実際には、コミュニケーションにおいても次のような困難さを示すことがあります。

- ①言葉を字義どおりに受け取ってしまう。そのために勘違いが生じる。
- ②相手の気持ちを察することなく、自分の思いをそのまま伝えてしまう。
- ③妙に堅い言葉を使ったり、一方的に話したりする。

また、高機能自閉症やアスペルガー症候群のある子どもは、記憶力や計算能力など、特異な能力を発揮することもあります。

\*自閉症・高機能自閉症・アスペルガー症候群などを含めて「広汎性発達障害（PDD）」「自閉症スペクトラム障害」とするとらえ方もあります。

## ワンポイントアドバイス 自閉症、アスペルガー症候群への支援の基本

わかりやすい環境をつくってあげることや、指示を端的に伝える工夫が支援の基本です。言葉のみでの指示ではなく、「目で見てわかる」指示を工夫したり、見本を示しながら指示を出したりすることは有効です。

言葉による指示は、あいまいな言い方ではなく、具体的な行動を明確に指示するために、具体的な言葉を短く言うことがポイントです。

また、他者の言葉や振る舞いを勘違いしてとらえている場合があるため、他者の言動をどのようにとらえたのかを確認し、必要に応じて勘違いを解きほぐしてあげることが必要です。